

例 1

民泊サービスを利用する方へ

宿泊時の注意事項

出火防止対策にご協力をお願いします。

【コンロ・ストーブ等の使用方法・取り扱い上の注意】
備え付けの器具や鍋などの調理用品以外の使用は
ご遠慮ください！

- 1 使う前に取り扱い方法を確認。
- 2 調理中はコンロから離れない。
- 3 ストーブの近くに燃える物を近づけない。
(給油が必要な時は緊急連絡先にご連絡ください。)

※火災が多く発生しています。危険な取り扱いは止めて、
使用方法が不明な場合は連絡先にご確認ください。

例 2

民泊サービスを利用する方へ

宿泊時の注意事項

出火防止対策にご協力をお願いします。

【喫煙ルールを守りましょう】

屋内（又は敷地内）は禁煙です。

喫煙される場合は、吸い殻は所定の吸い殻入れに捨ててください。（火災の原因となりますので、吸い殻をゴミ箱にすてないでください。）

※たばこの火は水の入った灰皿で消してください。
決められた場所以外ではたばこを吸わないでください。

例 3

民泊サービスを利用する方へ

宿泊時の注意事項

出火防止対策にご協力をお願いします。

【消火器の使用方法】

① 安全ピンを指にかけ、上に引き抜く。



② ホースをはずして火元に向ける。



③ レバーを強く握って噴射する。



- 火元いきなり近づくのではなく、ホウキで掃くような動きで、徐々に近づいていきましょう。
- 近づく際には姿勢を低くし、煙や炎から身を守りましょう。
- 室内で使用する際は、必ず出口（退路）を背に消火しましょう。
- 屋外で使用する際は、風上から使用しましょう。
- 住宅用消火器の放射時間はおよそ10～15秒ほど、放射距離はおよそ3～5mほどです。
- 大声で「火事だー!!!」「誰か助けてー!!!」と叫び必ず周囲の人に助けを求めてください。

例 4

民泊サービスを利用する方へ

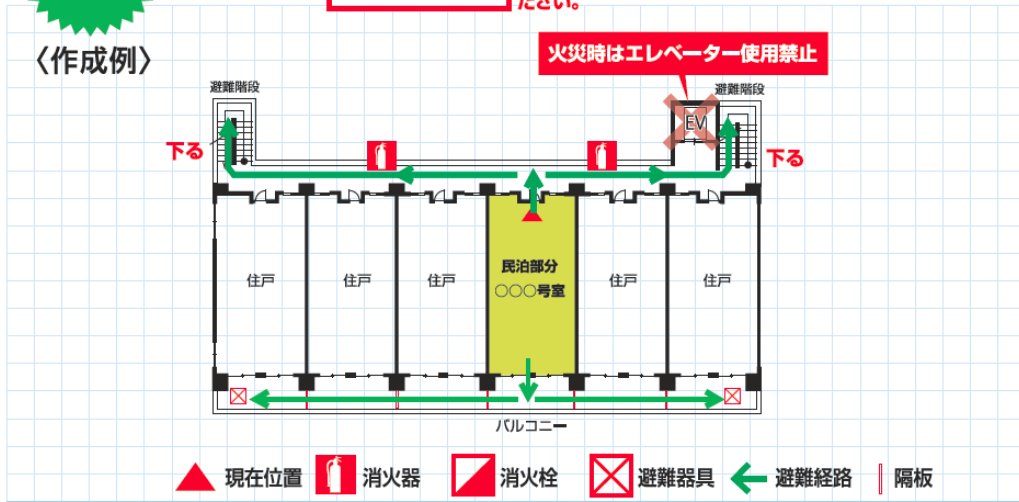
消火器等設置場所及び避難経路図

1 避難経路図

注意

利用前に、避難経路図で火災時の避難経路をご確認ください。その後、実際にその経路を歩いて避難経路をご確認ください。ただし、バルコニー隔板は火災時以外に蹴破ることは止めてください。

〈作成例〉



2 避難の方法

■ 感知器が火災を感知

感知器が火災の煙又は熱を見つけて、音声やブザーで知らせます。



初期消火ができない場合
避難します

■ 玄関から避難

玄関から廊下を通じて避難階段から建物の外に避難します。

火事だー！！

玄関などから避難できない場合は、バルコニーから避難します。

■ バルコニー隔板

薄板で作られた隔板を蹴破ると隣の住戸に避難できます。

■ 避難器具 (避難ハッチ+避難はしご)

避難はしごで下階の住戸バルコニーに避難できます。

疑似警報音を確認できます。

<http://www.kaho.or.jp/alarmsound/>



例 5

民泊サービスを利用する方へ

119番通報シート

火災が発生した場合など緊急時は、すぐに119番通報してください。

所在地（必ず伝えること）

住所

世帯主名

建物名称・部屋番号

目標物

聞かれたことに答えてください

火事ですか・救急ですか？

火事

- 燃えている場所は？
- 何が燃えていますか？
- あなたのお名前・電話番号は？



救急



近くの消防署から消防車・救急車が出動します。



例 6

民泊サービスを利用する方へ

宿泊時の確認事項

以下の項目においてチェック☑をお願いします。

本シートはご記入の上、部屋に置いてお帰りください。

- コンロ・ストーブ等の使用方法、取扱上の注意点は理解できましたか。
- 喫煙ルールは理解できましたか。
- 消火器の位置、使用方法是確認しましたか。
- 避難経路、避難の方法は確認しましたか。
- 119番通報シートは確認しましたか。

署名 _____

連絡先

施設担当者住所

氏名

電話番号

その他、防火に関しお気づきの点があれば、ご記入ください。